

# 学生担当者報 4

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/茶谷 良佐 編集責任者/辻 雄二郎

TEL 0743-63-1511(内線 5817). 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780  
E-mail tsa@tenrikyo.or.jp TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp

Vol. 422  
立教 185 年  
2022 年  
3 月 25 日発行

## お知らせ

### 四月例会

- ・期日 立教 185 年 4 月 25 日
- ・時間 15 時 30 分受付 16 時開始
- ・場所 教庁 4 階講堂

### 学生層育成者講習会

#### 日程・会場案内

- 教区
- ・沖縄 4 月 2 日 12 時〜 教務支庁
- 直属
- ・北陸 4 月 16 日 11 時 30 分〜 大教会

## 報告

### 二月例会

去る 2 月 25 日、教庁 4 階講堂において「二月例会」を開催。出席は 19 教区、68 直属。

### 各地の動き

- 教区学生層育成者講習会
- ・香川 2 月 4 日〜9 日 125 名
- 各支部にて動画視聴
- 茶谷良佐委員長

- ・京都 2 月 6 日 18 名
- 辻雄二郎副委員長
- 直属学生層育成者講習会
- ・本愛 2 月 13 日 大教会 200 名
- 清水慶政委員出向
- ・松阪 2 月 20 日 大教会 80 名
- 中山正直委員出向
- ・笠岡 2 月 21 日 大教会 75 名
- 小西祥治委員
- ・飾東 2 月 22 日 大教会 150 名
- 小塚嗣夫委員出向
- ・越乃國 2 月 23 日 大教会 90 名
- 清水学委員出向
- ・生野 2 月 23 日 大教会 100 名
- 越知久輝委員出向
- ・中和 2 月 24 日 大教会 75 名
- 深谷太清委員出向

### 業務記録

- 《立教 185 年 2 月 16 日〜3 月 15 日》
- 2 月 17 日 事務局連絡会
- 担当者報チーム会議
- 学生連絡会

- 18 日 春の学生おぢばがえり
- プロジェクトチーム会議
- 21 日 編集部部会
- 勉強会チーム会議
- 24 日 担当者活動部部会
- 25 日 委員会 例会
- 担当者活動部部会
- 学生部部会
- 勉強会チーム会議
- 3 月 1 日 学修大学の部 第 1 回
- スタッフ直前研修
- 2 日 学修大学の部 第 1 回
- (〜6 日)
- 7 日 学修大学の部 第 2 回
- スタッフ直前研修
- 8 日 学修大学の部 第 2 回
- (〜12 日)
- 12 日 勉強会チーム会議
- 13 日 学修高校の部研究室会議
- 春の学生おぢばがえり
- プロジェクトチーム会議

## 「努力と工夫を重ねて育成を」



先日、おぢばでは「立教 185 年 学生生徒修養会 大学の部」が開催されました。おぢばという尊い場所で、教祖の御教えに触れ、数多くの仲間と絆を深め合うとともに、教えの実践に向けて歩み出す機会となる、とても素晴らしい育成行事です。

多くの学生を受け入れるこの行事が、さまざまな係から成り立ち、多くの努力と工夫と連携によって支えられているのは周知のことでしょう。伝える側の多くの努力と工夫が、育成をより堅固なものにするべくよく聞かせていただくところからです。

立教 184 年の「みちのとも」のインタビューで表統領先生は「一人ひとりの顔を思い浮かべ、そして相手の置かれている状況をしっかりと理解させてもらう姿勢で接することです。」と話されました。今年

### 担当者活動部 委員

#### 小西 祥治

高校生以外にも通用するのではないかとということで、スタッフ事前研修の期間に「大人もまなびば」と題して、大学生をはじめ、関東の育成に関わる多くの先生方にもご参加をいただいたことがありました。私も参加した一人ですが、道の諸先輩方がプログラムにグッと入り込んで、打ち解けていくさまに思わず目を奪われました。

令和 4 年度の「まなびば」のテーマは「たすけあい」です。全国的にもいまだ感染状況が危ぶまれる地域もある中で、開催に向けて動き出すことも難しいかも知れませんが、私たち学生担当者一人ひとりの努力と工夫によって、更には、道につながるお互いのたすけ合いをもつて、全国各地の高校生が「まなびば」に参加できるよう、心よりお願い申し上げます。

令和 4 年 学生担当委員会 活動方針 「共に教祖のようぼくに育つ」

「立教百八十五年 学生生徒修養会大学部」開催報告

去る3月2～6日、8～12日の二回に分けて「学生生徒修養会 大学の部」を開催。498名(第1回…男子175名、女子114名計289名、第2回…男子113名、女子96名計209名)の大学生が受講した(スタッフ210名)。

本年の学修では、マスク必着や常時の換気、朝夕の体温測定、食事時の黙食、看護師の常駐、各所、各部屋の消毒といった徹底した感染対策を講じた上で開催した。

今回は宿舍数の都合から、参加回数で分けて、全学年を混合させた班体制をとり、「いさみ塾」(7・8・9母屋)と「よふき塾」(38母屋)の二塾体制で実施した。お引き寄せいただいた学生たちは、共同生活を通して絆を深め合いながら、『ひのきしん』感謝を実践に『のテーマのもと、共に語り合い、

励まし合いつつ、親神様の懐に抱かれながら、教祖の御教えに触れる充実した五日間を過ごした。

初日。緊張と不安と期待が交差するなか開講式を迎えた学生たちは、その後、各塾での心をほぐす楽しいプログラムを通して同班の仲間やカウンセラーと交流を深めながら次第に打ち解け合った。

二日目。学修最初の『講話』(塾別)では「お道の素晴らしさ」かきもの・かりもの」と題して、親神様のご守護やお働きを学んだ。

三日目。三つのテーマの講話から一つを選ぶ『選択講話』では、それぞれの立場で道のご用に活躍される講師陣のおたすけ話に聴き入った。さらに『塾長講話』の「ひのきしんに向けて」を聴き、その後のふりかえりにおい

て、四日目の実践に向けての心を作った。四日目。いよいよ今回のメインプログラムである『ひのきしん』を通して、感謝の心を実践に表し、続く『委員長講話』で日々のひのきしんの実践につなげる大切さを学んだ。尚、ひのきしんでは、神殿トイレ掃除、殿内や教祖殿の畳拭きなど、尊いおちばの伏せ込みを行った。

最終日の『閉講式』では、表統領中田善亮先生よりご挨拶を頂き、代表者に修了証書が授与され幕を閉じた。

この度の学修で受講生のみならず、スタッフ一同も、ひのきしんの意義を再確認し、感謝を実践に表す五日間を過ごした。誠の心で人材の育成につとめる中で、「共に育つ」道の育成の精神を見落とすことなく、今後も信仰を伝える学修の発展に努めていきたい。

立教 185 年 教区・直属学生担当委員長講習会のお知らせ

日時：5月25日14時～15時45分終了予定(引き続き16時より例会)

会場：第38母屋9階大広間

対象：教区・直属学生担当委員長

※委員長が推薦される方は1名まで受講できます。ただし、別室にて中継映像となります。

内容：講話 テーマ「教祖のひながたに学ぶ“育成者の心得”」

講師 内統領 宮森 与一郎先生

詳細や申し込み方法は、2月例会にて配布しました「立教185年 教区・直属学生担当委員長講習会のご案内」をご覧ください。

青空

私は学生担当委員会事務局 学生部局員として二年間のご用を勤めさせていただきました。

この二年間は「学生生徒修養会 高校の部」や「大学の部」、「春の学生おちばがえり」など多くの行事が中止、また、規模縮小での開催となりました。多くの行事が中止となり、思うように動けない日々ではありましたが、オンラインを使用している行事開催など、新しい試みを考える渦中に加えていただけたことは私の大きな経験となりました。

立教184年度に入ると、オンライン行事だけではなく、春の学生おちばがえり実行委員会の学生を中心に「立教185年春の学生おちばがえり」へ向けての準備が始まりました。本部中庭に集まること出来るのか、開催できるのか、開催できる場合にはどのような対策が必要なのかなど、何度も話し合いを重ねた日々からは試行錯誤の大切さを教えてもらいました。

これからも学生担当委員会で学んだことを生かして歩んでいきます。

学生部局員 野村かな

明日につながる 学生WEBSITE Happist

https://happist.net



QRコード読み取り

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介
■おちばの行事情報や各地の学生会情報も充実
■「Happistスマイル」では学生の笑顔をお届け

学生に手軽利用できるリーフレット HAPPIST [NOT] NET 毎月25日発行。例会資料としてお配りしています。部数のご変更は学生担当委員会事務局編集部まで。